

平成27年度後期 大学院 学生による授業評価アンケート集計結果

専修名	回答数					在 student 数	回答率
	履修年数				合計		
	1年	2年	3年	4年			
看護学	3	0	0	0	3	16	18.8%
リハビリテーション学	0	1	1	0	2	22	9.1%
健康福祉科学	1	0	0	0	1	9	11.1%
合計	4	1	1	0	6	47	12.8%

※在校生数は、平成27年度前期に休学している学生を含まない。(H27後期休学者:5名)

● 共通必修科目について

No.	設問内容	平均点	回答数
設問1	講義は、関心を持つことができた。	4.00	3
設問2	講義は、新しい知識や技術が習得できた。	4.00	3
設問3	講義は、職業に役立つ内容であった。	4.00	3
設問4	各科目で提示される学習目標が理解できるものであった。	3.67	3
設問5	授業のスケジュールは適切であった。	3.67	3
設問6	教員と学生とのコミュニケーションは円滑であった。	4.00	3
設問7	講義内容は、満足できるものである。	3.67	3

● 共通選択科目について

No.	設問内容	平均点	回答数
設問9	講義は、関心を持つことができた。	3.60	5
設問10	講義は、新しい知識や技術が習得できた。	3.80	5
設問11	講義は、職業に役立つ内容であった。	3.60	5
設問12	各科目で提示される学習目標が理解できるものであった。	3.60	5
設問13	授業のスケジュールは適切であった。	4.00	4
設問14	教員と学生とのコミュニケーションは円滑であった。	3.40	5
設問15	講義内容は、満足できるものである。	3.40	5

● 専門科目について(講義・演習・特別研究)

No.	設問内容	平均点	回答数
設問17	講義は、関心を持つことができた。	4.60	5
設問18	講義は、新しい知識や技術が習得できた。	4.60	5
設問19	講義は、職業に役立つ内容であった。	4.60	5
設問20	各科目で提示される学習目標が理解できるものであった。	4.60	5
設問21	授業のスケジュールは適切であった。	4.80	5
設問22	教員と学生とのコミュニケーションは円滑であった。	4.80	5
設問23	講義内容は、満足できるものである。	4.60	5

● 大学院における教育運営全般について

No.	設問内容	平均点	回答数
設問26	時間割の科目配置は適切であった。	3.67	6
設問27	教員は有職者に配慮した授業運営や指導を行っていた。	3.50	6
設問28	教育環境(施設、設備など)は適切であった。	3.67	6
設問29	研究環境は適切であった。	3.67	6